

第1学年 生活科学習指導案

日 時 平成22年10月1日(金) 5校時
児 童 男6名 女5名 計11名
指導者 藤 枝 朋 子

1 単元名 『すいすい さわやか きもちがいいね』

2 単元の目標

- 秋を探したり調べたりする活動を通して季節の変化に関心をもつ。(関心・意欲・態度)
- 夏と比べながら秋の自然の様子をとらえるとともに、秋の葉や実を使っていろいろなものを工夫して作る。(思考・表現)
- 秋の樹木や草花、虫などが夏の頃とは違ってきたことや、それらを使って遊ぶことの楽しさに気付く。(気付き)

3 単元について

(1) 児童について

児童は、これまで生活科で、「ぼかぼかのはらへとびだそう」「ぎらぎらおひさまげんきいっぱい」などの学習をしている。「ぼかぼかのはらへとびだそう」では、校庭へ出て、おもしろいもの、不思議だと思うものを見つけた。藤の実を見つけ、毛のふわふわの感触を楽しんだり、カナヘビを追いかけて捕まえたりする児童もいたが、なかには、校庭にあるものをよく見ずになかなか見つけられない児童もいた。「ぎらぎらおひさまげんきいっぱい」では、雨の日の校庭探検を行い雨の日特有の生き物を見つけたり、校庭の土のどろどろの感触を楽しんだりした。なかには、「雨の日は、影が見えない。」など晴れた日との違いにも気付くことができた児童もいた。ほとんどの児童は、外へ出て活動するのが好きで、休み時間も外で遊んでいる。校庭の虫や木の実を見つけて遊ぶ児童はいるが、草花や木の実をつかって遊ぶことは少ない。

(2) 教材について

本単元は、生活科学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心をもつ、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」を受け、ここでは公園や野原、学校の周りで秋を探したり調べたりする活動を通して、秋の樹木や草花、虫などが夏の頃とは違ってきたことに気付くとともに、それらを使っていろいろなものを作ったり遊んだりして季節の変化に関心をもつ学習を進めていく。

本単元では、春、夏に続き、秋の探検をすることで四季の変化に関心をもつ、季節のよさを実感していくことが期待できる。また、探検を通して見つけた木の葉や実を秋の宝物として集めたり、それを使って遊んだり飾りを作ったりすることでその子らしい思いや願いを抱き、進んで自然や人と楽しく関わっていくことができる教材である。

(3) 指導について

導入では、1学期に春や夏の探検をしたことを思い出ししながら、秋の校庭や花壇の様子について話し合い、季節が変化してきたことに気付かせる。そして、学校周辺の草花や樹木などの自然の中から秋らしいものを見つけようとする意欲を高める。

第2次では、校庭で虫を探したり、木の葉や実を集めたりする。一人ひとりに諸感覚を使って秋を楽しむ活動を十分に味わわせ、その子なりの秋の感じとり方を大切にすることで、思いが深まり、秋のよさに気付くことができると考えられる。そのため、秋探検を繰り返し行い、自分の気付きを深めたり視野を広げたりすることができるようにしたい。その中で見つけたものを「あきのたからもの」と価値付け、「もっと見つけたい」という思いを高めていきたい。

第3次では見つけた木の葉や実を使って遊ぶものを作って遊び、秋の楽しみをひろげていく。

木の葉や実を使った遊びの経験が少ない児童にとって自分からどのようなものを作るか思いつかない児童もいると考えられる。そこで、教師から作例を示し、「自分もつくってみたい。」という思いを持てるようにする。製作の際は、作りたいものごとにグループを作り、同じものを作る児童同士が教え合えるようにする。また、出来上がった作品について発表することでがんばりやよさを認め合えるようにする。そして、作った作品を自分たちだけで楽しむのではなく、他の人にも伝えていけないだろうかと投げかけ、秋のお楽しみ会を開くことへつなげていく。

第4次では、第3次で作った作品を使い秋のお楽しみ会をするための準備をする。秋のお楽しみ会を開くにあたり、どのようなものを用意したらよいか考えさせ、お楽しみ会への期待をもたせたい。

第5次の秋のお楽しみ会本番では、招待した人が楽しんでくれるにはどのように接すればよいかということを考えさせ、言葉遣いなどにも気を付けさせていきたい。

(4) キャリア教育との関わりについて

キャリア教育に関わる1学年のテーマは、『よさをしろ、じぶんとともだち』である。

本単元では、キャリア発達に関わる能力のうち主に次の能力を育成できると考える。

【コミュニケーション能力】

○見つけたことや楽しい遊び方、作り方を友だちに教え合うことができる。

○秋のお楽しみ会を開く活動を通して、友だちの良さ、自分の良さに気付くことができる。

【情報収集能力】

○諸感覚を使って秋を見つけることができる。

【計画・実行能力】

○秋のお楽しみ会の計画を立て、準備をすることができる。

4 単元の構成

◎は重点

過程	時間	主な学習活動と内容	キャリア教育との関わり								
			かかわり、 つたえる		しらべ、きづく		ゆめや きぼうをもつ		かんがえ きめる		
			自他	コミ	情報	職業	役割	計画	選択	課題	
第1次	1	○校庭の草木や樹木などの自然の中から秋を見つける。 ・1学期に校庭探検したことを思い出して秋の様子について探してみたいことを話し合う。	◎								
	2	・校庭を探検して、春や夏との樹木や草木の変化を見つける。		◎	○						
	3	・校庭で見つけた木の葉や木の実の名前を調べる。		○	○						
第2次	4	○校庭で虫を探したり、落ち葉や木の実を集めたりする。 ・色々な木の実や葉を集める。		◎	○						
	5	・虫の鳴き声を聞き取ったり、すみかを探したりして、虫探しをする。		◎	○						
第3次	6	○色々な種類の木の葉や木の実を集めて、それらを使って遊ぶものを作る。 ・集めた木の実や木の葉を使って作るものを決める。	○							○	

	7 8 本時	・木の葉や実を使って遊ぶものを作る。	◎	◎						○
第4次	9	○秋のお楽しみ会の準備をする。 ・秋のお楽しみ会に必要なものやルールを考える。	◎	○						
	10 11	・秋のお楽しみ会に必要なものを作る。		◎				○		◎
第5次	12	○秋のお楽しみ会を開く。 ・秋のお楽しみ会を行い招待した人と交流を図る。		◎				○		
	13									
	14	・会を振り返り、感想を書く。	◎	○						

5 本時の指導

(1) 目標

秋の宝物を使ってグループで交流しながら遊ぶものを作ることができる。

(2) 評価規準

評価規準	具体の評価規準		手立て
	十分満足できる	概ね満足できる	
◆秋の宝物を使って、友だちと交流しながら遊ぶものを作ることができる。 【思考・表現】 (行動・発言)	秋の宝物を使い、友だちと交流しながら工夫して遊ぶものを作り、広げることができる。	秋の宝物を使い、友だちと交流しながら遊ぶものを作ることができる。	・うまくできた児童に作り方をきくようにながす。

(3) キャリア教育の視点

◇作品の作り方について教え合うことができる。【コミュニケーション能力】

◇自分の作った作品について友だちに伝えることができる。【自他の理解能力】

(4) 展開 (8 / 14時)

段階	学習内容と活動	指導上の留意点	備考・評価 (◆教科◇キャリア)
つかむ 5分	1 前時までの活動を想起する。	・前時を振り返り、本時に工夫したいことやがんばりたいことを言うようにさせる。 ・みんなで読み、意欲付けを図る。	
	2 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あきのたからものをつかってあそぶものをつくろう。</div>		
ふかめる 35分	3 作るときに気をつけることを確認する。 ・道具のつかいかた ・ルール 道具や材料は仲良くつかおう。 分からないときは、友だちにそうだん	・ルールや道具の使い方については、前時に確認しているので簡単に確認をする。 ・友だちに相談しても解決できないときは、教師に相談する	

	<p>しよう。</p> <p>4 遊ぶもの作りをする。</p> <p>5 自分が作ったものについて秋の宝物をどこに使ったかと、うまくできたところを発表する。</p>	<p>ように言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作るものの種類ごとにグループになって作ることができるようにする。 ・作り方を書いたものと、見本をそれぞれの場に用意しておく。 ・早くできた児童には、できた作品で遊んでみたり、さらに改良を加えたりするよう声をかける。 ・秋の宝物をどこに使ったか、どんなところを工夫したか、を発表させる。 	<p>作品を作るのに必要な道具、材料</p> <p>◇作品の作り方について教え合うことができる。 【コミュニケーション能力】(観察)</p> <p>◆【思考・表現】(行動・発言)</p> <p>◇自分の作った作品について友だちに伝えることができる。 【自他の理解能力】(発表)</p>
ま と め る	<p>6 ふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作をして思ったことや友だちの発表を聞いて思ったことを記入させる。 	ふりかえりカード
5 分	<p>7 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会の準備を確認する。 	

(5) 板書計画

あきのたからもので遊ぶものをつくろう。

ルール

- ・どうぐやざいりょうは、なかよくつかおう。
- ・わからないときは、ともだちとそうだんしよう。

おしえるよ。

おしえて。

どうぐのつかいかた

- ・はものは、ひとにむけない。
- ・つかいおわたたらもとのばしよへかたづける。

